

地図と測量の公開講座

「基準点測量＋空中写真」(第2回)

—民間の立場で準則を見直すための研究(その2)—

「作業規程の準則」は、国内における測量成果の規格の統一の役割を果たすとともに、公共測量における新技術の普及の役割も果たしている。

しかしながら、現行の準則には次の課題がある。

- ・新技術には対応しているものの、従前の作業方法に新たな技術が次々と加えられ、規程が複雑になっている。
- ・品質管理は、1977年(昭和52年)の公共測量作業規程の改正後ほとんど未改定である。

これらの課題に対して、日本測量協会は「測量近代化研究会」を設立し、シンプルでスリム、かつ、これからの時代に対応できるマニュアルの整備を目指して、民間の立場で研究を進めている。

今回は、基準点測量における品質管理基準や平均計算方法の改善とそれらがマニュアルにどう反映されるかについてお話しする。

併せて、デジタル空中写真の品質基準の設定方法について問題提起をし、その解決への道すじを提案する。

■ 日時 令和7年1月24日(金) 16:00～17:30

※講演:16:00～17:00／質疑応答:17:00～17:30

■ 会場 (公社)日本測量協会 研修室(東京都文京区小石川一丁目5番1号)

■ 講師 村上 真幸 氏 公益社団法人 日本測量協会 副会長

参加費 無料

CPDポイント 測量CPD1ポイント

定員20名

申込み方法

[こちらをクリックして、受付システムによりお申込みください](#)

申込み〆切日 1月10日(金)

(定員になり次第締め切らせていただきます)

お問い合わせ メール: open-ic@jsurvey.jp

Tel:03-5684-3357 (担当:遠藤 拓郎)